

秋葉 英則（あきば ひでのり）

【所属・職名】

介護福祉学科 教授（学長）

【最終学歴】

1967年7月 東北大学大学院教育学研究科博士課程教育心理学専攻中退

【学位】

教育学修士（東北大学、1965年3月） 教育学博士（東北大学教第13号、1973年3月）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○著書

- ◆『シリーズ・子どもと保育 5歳児』（監修）かもがわ出版 2006年
- ◆『今、教育実践に人格発達のこだわりを』高知大学教育学部附属中学校研究発表会報告書 2007年
- ◆『年齢別保育講座』全6巻（監修）（あゆみ出版、1984年）が韓国で翻訳される。（翻訳者 鄭炳浩 他、2007年）
- ◆『人に惚れて人になる』フォーラムA 2009年

○論文

- ◆「学校の安全問題と子ども観を考える」所収『授業研究所年報Ⅰ』 pp.92-106 2006年
- ◆「論壇 大学教職員のありようが問われる時代」所収「全私学新聞」 2007年8月3日付
- ◆「私語、それは生きる力かも」所収「日本青年心理学会 News Letter」43 pp.2-3 2007年
- ◆「子ども時代の魅力」所収『小児歯科臨床』13（8） pp.12-17 2008年
- ◆「先人への感謝」所収『青年心理学研究』20 pp.1-4 2008年

古川 利通 (ふるかわ としみち)

【所属・職名】

介護福祉学科 教授 (副学長)

【最終学歴】

1980年3月 早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得後退学

【学位】

法学修士 (早稲田大学、1976年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○論文

- ◆「現代日本の精神的自由の状況を考える」 所収 『部落問題研究』158輯 pp.76-106
2001年
- ◆「日本における『介護の社会化』と介護福祉士養成教育」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第6号 pp.29-32 2007年
- ◆「近代天皇制『政治神学』研究(その1)」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.3-19 2008年
- ◆「近代天皇制『政治神学』研究(その2)」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.43-52 2009年

川口 啓子 (かわぐち けいこ)

【所属・職名】

介護福祉学科 教授 (図書館長)

【最終学歴】

1999年4月 東北大学大学院経済学研究科博士後期課程経済学専攻修了

【学位】

博士(経済学)(東北大学経第44号、1999年4月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆『従軍看護婦と日本赤十字社—その歴史と従軍証言—』(共・編著) 文理閣 2007年

○論文

- ◆「医療制度改革の再考—原点から相互扶助の言及の取り組み—」 所収『保育・学童保育の研究』第11号 pp.10-21 2006年
- ◆「民主的組織運営へのアプローチ—当事者のための5つの視点—」 所収 非営利・協同総合研究所所報『いのちとくらし』No.27 pp.31-41 2009年
- ◆「事務労働概念の考察—先行研究を遡って」 所収 非営利・協同総合研究所所報『いのちとくらし』No.30 pp.12-21 2010年
- ◆「日赤社員制度と意思決定に関する考察」 所収 医学史研究会会報『医学史研究』No.93 pp.18-28 2010年
- ◆「日赤社員制度と従軍看護婦」 所収 15年戦争と日本の医学医療研究会『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』第11巻第1号 2010年

○研究ノート

- ◆「事務労働論のための研究ノート—理論化の手掛り—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.131-142 2009年
- ◆「日赤社員制度考」 所収 研究年報『経済学』第70巻第3号(通巻第253号) 東北大学経済学会 2010年

○講演

- ◆「問題提起 事務労働を考える」奈良民医連全事務職員研修交流 2008年5月17日
- ◆「従軍看護婦の時代と現代—史実に学ぶ」 奈良民医連看護部会 2009年11月21日
- ◆「従軍看護婦の時代と現代—史実に学ぶ」 奈良民医連「看護を良くする会」2009年度総会記念講演 2010年1月23日
- ◆「民主的な組織運営へのアプローチ—当事者のための5つの視点」 民主医療機関連合会近畿地協看護幹部研修会 2010年2月5日
- ◆「従軍看護婦と日本赤十字社—日赤社員制度から考える」 15年戦争と日本の医学医療研究会10周年記念講演 2010年3月21日(『読売新聞』2010年3月22日付京都版「戦後65年」に記事掲載)
- ◆「民主的な組織運営へのアプローチ」耳原総合病院看護師長研修会 2010年11月2日

○新聞投稿

- ◆「介護の仕事 今こそ安定した雇用創出を」 『朝日新聞』「私の視点」(全国版) 2009年2月19日付

石田 京子 (いしだ きょうこ)

【所属・職名】

介護福祉学科 教授 (学科長)

【最終学歴】

2005年3月 大阪府立看護大学大学院看護研究科博士前期課程修了

【学位】

看護学修士 (大阪府立看護大学、2005年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆『高齢者介護のコツ』 介護を支える基礎知識 (共著) クリエイツかもがわ 2010年
- ◆『福祉実践をサポートする介護概論』 (共著) 保育出版社 2011年

○論文

- ◆「短期大学生 (本学) の喫煙実態と自尊感情の関連」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 p13-19 2008年
- ◆「事例演習を軸にした介護技術演習授業の効果～フォーカスグループを用いて～(第1報)」 (共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.67-73 2008年
- ◆「事例演習を軸にした介護技術演習授業の効果～フォーカスグループを用いて～(第2報)」 (共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.103-113 2009年
- ◆「当事者参加型フィールド授業が当事者に与えるナラティブセラピー的効果」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.113-120 2009年
- ◆「短期大学における介護学生の卒業時の介護観の検討ー授業・実習との関連と新カリキュラムへの課題」 (共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.3-13

○学会発表

- ◆「在宅呼吸ケアの問題点～施設アンケート結果から～」 (共同) 第18回大阪呼吸ケア研究会 2008年2月
- ◆「介護実習巡回指導教員の役割・業務に関する課題(2)～実習巡回教員の悩みから見えてきた新カリキュラム充実への課題～」 (共同) 第15回介護福祉教育学会 2008年8月
- ◆「介護実習巡回指導教員の役割・業務に関する課題(2)～新カリキュラムに向けた介護実習巡回教員の業務内容の分析～」 (共同) 第15回介護福祉教育学会 2008年8月
- ◆「介護実習巡回指導教員の役割・業務に関する課題(2)～新カリキュラムに向けた介護実習巡回教員の教育内容の分析～」 (共同) 第15回介護福祉教育学会 2008年8月
- ◆「介護実習巡回指導教員の役割・業務に関する課題(2)～新カリキュラムに向けた介護福祉士養成施設のサポート体制の現状と課題～」 (共同) 第15回介護福祉教育学会 2008年8月
- ◆「学生の喫煙と自尊感情との関連および禁煙へのかだい」 第19回日本呼吸ケア・リハビリテーション学術集会 2009年10月

永原 直子 (ながはら なおこ)

【所属・職名】

介護福祉学科 准教授

【最終学歴】

2006年3月 名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程単位取得後退学

【学位】

修士(文学) (奈良女子大学、2002年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆ ‘The verbal fluency tasks in Japanese population.’ Ito, E., Nagahara, N., Karari, A., Iwahara, A., & Hatta, T. 2008 *In Contemporary issues of brain, communication and education in psychology: The science of mind*. Editor Yoshizaki, K., & Ohnishi, H. 2008 pp.123-144. Union press

○論文

- ◆ ‘Automatic phonological processing in reading one-character Kanji word.’ Nagahara, N., Amagase, M., & Hatta, T. 2006 *Psychologia*, 49, pp.38-49, Psychologia Society
- ◆ ‘Effects of the use of cigarettes on the function of frontal lobe in middle and upper middle-aged Japanese adults.’ Hatta, T., Okumura, M., Nagahara, N., Ito, E., Ito, Y. & Aoki, K. 2006 *Psychologia*, 49, pp.1-9, Psychologia Society
- ◆ 「中高年者の自己効力感が高次脳機能の維持に及ぼす影響」(岩原昭彦・八田武志・伊藤恵美・八田武俊・八田純子・浜島信之と共著) 所収『人間環境学研究』6 pp.65-74 2008年
- ◆ 「ネガティブな記憶の忘却に伴う主観的経過時間と精神的健康の関連：加齢による影響」 所収『人間環境学研究』7 pp.137-149 2009年

小田 史 (おだ ふみ)

【所属・職名】

介護福祉学科 准教授

【最終学歴】

2005年3月 立命館大学社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修了

【学位】

修士(社会学)(立命館大学、2005年3月)

【主要研究業績】(2006~2010年度)

○論文

- ◆「事例演習を軸にした介護技術演習授業の効果～フォーカスグループを用いて～(第1報)」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.67-73 2008年
- ◆「事例演習を軸にした介護技術演習授業の効果～フォーカスグループを用いて～(第2報)」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.103-113 2009年
- ◆「短期大学における介護学生の卒業時の介護観の検討ー授業・実習との関連と新カリキュラムへの課題」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.3-13 2011年

○研究ノート

- ◆「ベトナムにおける高齢者介護を探る」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.71-77 2007年

辻本 乃理子（つじもと のりこ）

【所属・職名】

介護福祉学科 准教授

【最終学歴】

2004年3月 奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程生活環境学専攻修了

【学位】

家政学修士（奈良女子大学、1998年3月） 博士（学術）（奈良女子大学、2004年3月）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○著書

- ◆『政府・地方自治体の市民社会の戦略的連携—英国コンパクトにみる先駆性—』（共著）
的場信敬編 公人の友社 2008年

○論文

- ◆「在宅高齢者の食生活を支える草の根型配食サービスの利点と課題」（小伊藤亜希子・
他7名と共著） 所収『日本家政学会誌』Vol.58 No.12 pp.39-51 2007年

○学会発表

- ◆「高齢者に対する自然環境に関する学習・活動の現状に関する研究」 所収『日本建築学会 2008年度大会学術講演梗概集』F-1 pp.1111-1112 2008年
- ◆「英国における民間団体による自然環境学習・活動支援に関する研究—Kent Wildlife Trustを事例に—」 所収『日本建築学会 2009年度大会学術講演梗概集』F-1 pp.13-14 2009年
- ◆「英国の民間NPOによる自然環境保全計画とその実施について—Shropshire Wildlife trustを事例に—」 所収『日本建築学会 2010年度大会学術講演梗概集』F-1 pp.235-236 2010年

田中 真佐恵 (たなか まさえ)

【所属・職名】

介護福祉学科 講師

【最終学歴】

2003年9月 佛教大学通信教育部社会学部社会福祉学科卒業

鴻上 圭太 (こうがみ けいた)

【所属・職名】

介護福祉学科 講師

【最終学歴】

2009年3月 立命館大学社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修了

【学位】

修士(社会学)(立命館大学、2009年3月)

【主要研究業績】(2006~2010年度)

○論文

- ◆「特別養護老人ホームにおける夜勤労働の実態と介護労働の専門性の関連についての研究」(学位請求論文) 2008年
- ◆「短期大学における介護学生の卒業時の介護観の検討」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.3-12 2011年

○研究ノート

- ◆「介護専門職における専門職性についての一考察—三好春樹論研究を通して—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.175-182 2008年
- ◆「『サザエさん』を教材とした、高齢者理解の授業効果と課題」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第9号 pp.115-124 2010年

中原 康博（なかはら やすひろ）

【所属・職名】

子ども福祉学科 教授（学科長）

【最終学歴】

2007年9月 大阪市立大学大学院生活科学研究科博士後期課程単位取得後退学

【学位】

学術修士（大阪市立大学、2003年3月）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○著書

- ◆『よくわかる子ども家庭福祉（第7版）』（共著） ミネルヴァ書房 2010年
- ◆『よくわかる養護原理（第4版）』（共著） ミネルヴァ書房 2011年

○論文

- ◆「学童保育における家族支援—子育て支援から家族支援へ—」 所収 『学童保育研究』7 pp.48-58 かもがわ出版 2007年

西岡 正義（にしおか まさよし）

【所属・職名】

子ども福祉学科 特任教授

【最終学歴】

1997年3月 同志社大学大学院総合政策学科総合政策科学専攻博士前期課程修了

【学位】

修士（政策科学）（同志社大学、1997年3月）

森下 博（もりした ひろし）

【所属・職名】

子ども福祉学科 特任教授

【最終学歴】

1966年3月 大阪学芸大学教育学科心理学専攻卒業

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○論文

- ◆「子どもが生きる時間と空間」（共著） 所収『授業研究所年報』創刊号 pp.107-135
2006年
- ◆「ゼミ学生と考える基礎学力の養成」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.53-65 2008年
- ◆「短大生に必要な基礎学力とは何か—人格形成の視点からの学力論を—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.29-41 2009年
- ◆「学生参加の必要性と民主的人格の形成—誰のための学校・教育・人格形成か—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.31-44 2011年

眞鍋 穰 (まなべ ゆたか)

【所属・職名】

子ども福祉学科 特任教授

【最終学歴】

1976年3月 京都大学医学部卒業

【学位】

医師免許 日本小児科学会認定医 昭和60年11月20日(第2269号)(2002年より専門医)

【主要研究業績】 (2006~2008年度)

○著書

◆『食物アレルギー除去と解除の基本』 芽ばえ社 2009年

○論文

◆「A 保育園の健診に関わってートルエンによるシックハウス症候群についてー」 所収
大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.43-49 2007年

○発表

◆「Sick building syndrome due to toluene in a day nursery」 日中医学大会 2007年

平尾 達夫 (ひらお たつお)

【所属・職名】

子ども福祉学科 特任教授

【最終学歴】

1972年3月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了

【学位】

教育学修士 (大阪教育大学、1972年3月)

【主要研究業績】 (2006年～2010年度)

○論文

- ◆「幼稚園における教職員の役割 (I)」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.35-42 2007年

中川 かをり (なかがわ かをり)

【所属・職名】

子ども福祉学科 准教授

【主要研究業績】 (2006~2010 年度)

○著書

- ◆『シリーズ 子どもと保育 2歳児』(新装版) (共著) pp. 145-157 かもがわ出版 2006年
- ◆『シリーズ 子どもと保育 5歳児』(共著) pp. 104-119 かもがわ出版 2006年
- ◆『子どもを守る地域ネットワーク活動実践ハンドブック 要保護児童対策地域協議会の活動方法・運営』(共著) pp. 80-81「保育者の地域の中の役割」 中央法規出版 2008年

○研究ノート

- ◆「保育所実習の事後指導のあり方(1)ー事後指導での振り返り課題の分析を通してー」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp. 79-90 2011年

井口 和子 (いぐち たかこ)

【所属・職名】

子ども福祉学科 准教授

【最終学歴】

1980年3月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了

【学位】

教育学修士 (大阪教育大学、1980年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○個展

- ◆日中国交正常化 35 周年記念絵画個展 中華世紀壇世界芸術館 2007年10月
- ◆絵画個展 大阪 2002年・2003年・2005年・2006年

○発表

- ◆井口和子アートプロジェクト「友情の種」—時空を超えて違う国の子供達の共同制作—の
実践報告 第32回国際美術教育学会世界大会 in 大阪 2008年8月
論文「Art project by Takako Iguchi “The seeds of Friendship”- collaboration works
over time and space 」を「第32回国際美術教育学会世界大会論文集CD」に収録 2008
年

○実践

- ◆第2回井口和子アートプロジェクト「友情の種」の実践
大阪市立長池小学校と北京光明小学の間にて 2007年9月・10月
- ◆第3回井口和子アートプロジェクト「友情の種」の実践
藤井寺市立道明寺東小学校と広州越秀区東風東路小学の間にて 2009年6月・
11月

野村 朋 (のむら とも)

【所属・職名】

子ども福祉学科 准教授

【最終学歴】

1993年3月 立命館大学社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修了

【学位】

社会学修士 (立命館大学、1993年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆『保育現場に生かす「気になる子ども」の保育・保護者支援』(共著) かもがわ出版
2008年
- ◆『保育指針改定と保育実践 子どもの最善の利益を考える』(共著) 明石書店 2009
年

○論文

- ◆「軽度発達障害の子どもの発達と支援」 所収『学童保育研究』第7号 pp. 58-67 2006
年
- ◆「軽度発達障害を持つ子どもの保育」 所収『大阪の保育実践』第9号 pp. 80-83 2007
年

○研究ノート

- ◆「衝動性が高い子どもの自制心の形成過程—集団保育実践のあり方の検討—」 所収
大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp. 103-110 2007年
- ◆「青年期の発達要求にこたえる教育のあり方について」 所収 大阪健康福祉短期大学
紀要『創発』第7号 pp. 203-211 2008年

○その他

- ◆「記録をとることで見えてくるもの」 所収『学童保育研究』第9号 2008年
- ◆「矛盾を乗り越える力を育てたい」 所収『季刊保育問題研究』237号 2009年

中原 大介 (なかはら だいすけ)

【所属・職名】

子ども福祉学科 准教授

【最終学歴】

1998年3月 立命館大学社会学研究科博士前期課程応用社会学専攻発達・福祉系修了

【学位】

社会学修士 (立命館大学、1998年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆「障害児保育の理論と実践 インクルーシブ保育の実現に向けて」(共著) 堀智晴・橋本好市編著 pp.100-123 ミネルヴァ書房 2010年

○論文

- ◆「親の会活動とセルフ・ヘルプグループについて～登校拒否・不登校に関わる親の会活動から子育て支援へ～」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.67-75 2009年

○研究ノート

- ◆「保育体験実習が学生の学習意欲に及ぼす影響についての一考察」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第4号 pp.95-105 2006年
- ◆「児童福祉施設実習における自己評価と実習先評価の比較検討」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.111-120 2007年
- ◆「これからの保育実習指導についての一考察～児童福祉施設実習(居住型)を中心に～」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.185-194 2008年
- ◆「保育士養成課程・幼稚園教員養成課程における相談援助科目の教授内容の研究～「教育相談」を中心として～」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.91-100 2011年
- ◆「教育実習指導のあり方(3)～実習を中心に据えたカリキュラムを目指して～」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.101-113 2011年

黒田 治夫（くろだ はるお）

【所属・職名】

子ども福祉学科 講師

【最終学歴】

1985年3月 関西大学大学院文学研究科哲学専攻博士前期課程修了

【学位】

文学修士（関西大学、1985年3月）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○研究ノート

- ◆『『新自由主義』イデオロギーとしての『中曽根内閣と臨時行革路線』のイデオロギー』
所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.87-92 2007年
- ◆「学童保育の現状と課題―「放課後子どもプラン」に関わって―」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.155-162 2008年

山本 弥栄子 (やまもと やえこ)

【所属・職名】

子ども福祉学科 講師

【最終学歴】

2003年3月 龍谷大学文学研究科博士後期課程教育学専攻単位取得後退学

【学位】

教育学修士 (龍谷大学、2000年3月)

【主要研究業績】 (2006~2010年度)

○著書

- ◆『土割の刻』(共著)「龍谷大学大学院時代に学んだ発達保障論」 田中昌人を偲ぶ教え子のつどい実行委員会編 クリエイツかもがわ 2006年
- ◆『保育現場に生かす「気になる子ども」の保育・保護者支援』(共著) 丸山美和子・大阪保育研究所編著 かもがわ出版 pp.118-135 2008年
- ◆『子どもの「困った」を理解する～発達を見通した子育てを～』(共著) 長崎純子・山本喜久子・山本弥栄子著 京都発達研究会編 かもがわ出版 pp.45-74 2009年
- ◆『子どもの育ちと「ことば」』(共著) 松川利広監修 横山真喜子編著 保育出版社 2010年

○論文

- ◆「子ども同士の言語的コミュニケーションにおける一考察—会話の自然発生的過程の検討—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.51-60 2007年
- ◆「幼児間の会話発生期における言語交流の発達の要因に関する研究—2歳児の媒介物を通したやりとりに注目して—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.15-29 2011年

○研究ノート

- ◆「1歳児の生活と保育環境に関する実践報告～T保育所による平成17年度保育環境プロジェクトより～」 所収『保育・学童保育の研究』第12号 pp.52-69 2007年
- ◆「教育実習指導のあり方(1)～教育実習Iの結果をふまえて～」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第8号 pp.143-157 2009年
- ◆「教育実習指導のあり方(2)～養成校としての「めざす保育者像」に関する考察～」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第9号 pp.103-113 2010年
- ◆「教育実習指導のあり方(3)～実習を中心に据えたカリキュラムを目指して～」(共著) 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.101-113 2011年
- ◆「共同あそびにおける幼児間のイメージ共有と保育の課題—限定数と多数の積み木あそびとの比較検討—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.65-77 2011年

高砂 朋子（たかさご ともこ）

【所属・職名】

子ども福祉学科 講師

【最終学歴】

2010年3月 同朋大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻修士課程修了

【学位】

人間福祉修士（同朋大学、2010年3月）

【主要研究業績】

○論文

◆「戦後保育士養成のあゆみ(1)－児童福祉法の制定と保母養成－」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.53－63 2011年

◆「保育所実習の事後指導のあり方(1)－事後指導での振り返り課題の分析を通して－」
（共著） 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.79－90 2011年

○その他

◆ケアワーク実践・研究集 No.1『実践は理論を築き 理論は豊かな実践を導く』（大阪健康福祉短期大学附属福祉実践センター発行、2010年）実践・研究集編集委員

塩田 桃子（しおた ももこ）

【所属・職名】

子ども福祉学科 講師

【最終学歴】

2009年3月 京都府立大学福祉社会学研究科博士前期課程修了

【学位】

福祉社会学修士（京都府立大学、2009年3月）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○著書

- ◆ 『みんなが輝く体育① 幼児期 運動あそびの進め方』（共著）創文企画 2009年

○論文

- ◆ 「日本における幼児体育研究の動向と課題」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第5号 pp.61-69 2007年
- ◆ 「投動作をとまなう運動あそびの発達の検討」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.87-98 2008年
- ◆ 「幼児期における運動あそび指導と投動作獲得に関する一考察—投動作に着目して—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第9号 pp.29-35 2010年

○研究ノート

- ◆ 「青年期における運動の実態と体育授業の課題—専門学校生の調査から—」 所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第4号 pp.107-113 2006年
- ◆ 「保育園における運動会のあり方に関する一考察」 所収 大阪保育研究所紀要『保育・学童保育の研究』第13号 pp.50-58 2008年
- ◆ 「学生の生活習慣と喫煙、健康状態、授業への出席状況との関連」（共著） 所収 大阪健康福祉短期大学『創発』第9号 pp.47-55 2010年

○その他

- ◆ 「幼児をとりまく現状と幼児期の体育で育てたいこと—小学校低学年に引き継ぎたいこと—」（共著） 所収『たのしい体育・スポーツ』No.232 pp.15-17 2009年
- ◆ 「ごっこの世界と運動あそび—ボール運動に着目して—」 所収『たのしい体育・スポーツ』第28巻第3号 pp.35-38（第138回学校体育研究同志会全国大会幼年体育分科会基調提案） 2009年

代田 盛一郎 (だいた せいいちろう)

【所属・職名】

子ども福祉学科 講師

【最終学歴】

2009年3月 佛教大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修了

【学位】

修士(社会福祉学)(佛教大学、2009年3月)

【主要研究業績】(2006~2010年度)

○論文

- ◆「学童保育における遊びとその指導に関する実践研究(1)ー保育記録の分析を通してー」所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第9号 pp.37-46 2010年
- ◆「『荒れ』からの回復における虚構の遊びの可能性ー個々の幼児と保育実践の分析ー」所収 佛教大学大学院紀要 社会福祉学科研究科篇 第38号 pp.37-54 2010年
- ◆「学童保育における遊びとその指導に関する実践研究(2)ールールが顕在化した遊びとその指導ー」所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第10号 pp.45-52 2011年

○研究ノート

- ◆「軽度発達障害児を含む遊び活動への支援に関する考察にむけて」所収 大阪健康福祉短期大学紀要『創発』第7号 pp.165-173 2008年

○学会発表

- ◆「学童保育実践の固有性に関する考察ー学童保育実践の家族支援モメントに着目してー」第1回日本学童保育学会(自由研究発表) 2010年6月

熊谷 綾子（くまがい りょうこ）

【所属・職名】

子ども福祉学科 特任講師

【最終学歴】

2010年3月 神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科通信過程自主退学

【学位】

音楽学士（相愛大学 1992年）

【主要研究業績】（2006～2010年度）

○ 演奏

- ◆「第8回クリスマスコンサート&みんなでつくる第九コンサート」（第九アルトソリスト） LIC はびきのホールM 主催：(株)みのりの里 後援：はびきの市 2007年12月
- ◆「漆黒の空間で繰り広げられる女声コーラスとソロの饗宴」（合唱指揮および合唱ソリスト） サンケイホールブリーゼ 主催：JTB カルチャーサロン 2009年8月
- ◆「お母さんコーラス全国大会」（合唱指揮） ホクト文化ホール 主催：全日本合唱連盟・朝日新聞社、共催：長野県・長野市、後援：文化庁ほか お母さんコーラス賞受賞 2010年8月
- ◆「世界の名歌名曲ニューイヤーコンサート」（独唱） 兵庫芸術文化センター神戸女学院ホール 後援：(財)西宮文化振興財団ほか 2010年11月